

令和4年度 事業報告書

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

持続可能な観光地域づくりの実現および地域経済の活性化に寄与することを目指し、以下のとおり各事業を実施した。

(1) 公益的事業

1 坂井市観光ビジョン戦略事業／坂井市観光交流課より受託

本年度が事業年度にして四年目となる「坂井市観光ビジョン戦略基本計画（計画期間：2019～2023年度）」を推進するための観光事業者の事業活性化等につながる事業を坂井市（観光交流課）との協働により実施した。

〈主な事業内容〉

A 広報業務

1 雑誌・新聞等への広告掲載

けーぶるちゃん 5月号に坂井市の話題を掲載した他、えちぜん鉄道福井駅におけるサイネージ広告や南条・尼御前SAにおけるパンフレット配架を年間通して行った。また、三国祭りや海開きといった地域行催事の新聞広告掲出も行った。また、桜時期の観光誘客を図るため、「歴史道」3月号において丸岡城桜まつりの情報を掲載した他、ふぁにぷろ 2023春号において丸岡城、竹田の里、福井県総合グリーンセンターの桜の情報を掲載した。

2 ホームページ・SNS 運営による情報発信

坂井市観光情報サイト「Web 旅ナビ坂井」の運営や SNS による情報発信を行った。福井県観光連盟の運営する「ふくいドットコム」と RSS 連携を行い、情報の掲載漏れダブりが起きないようにシステム改修を行った。また、坂井市の観光素材（スチール、動画）を掲載して借用を行う素材集を作成し、観光素材を広く使ってもらえる仕組みを構築した。インスタグラム上でのアンバサダー募集を行い、総勢 24 名による坂井市の魅力発信事業を行った。

3 パンフレット等広報資材の作成、増刷及び配布

観光案内所やお客様、観光事業者への配架等を通じて積極的な配布を行った。また、物産展や出向宣伝等での配布を通じて在庫が僅少となったものについては広報資材を増刷したり、越前がにパンフレットのような情報刷新の必要があるものについては必要箇所を修正して作製を行った。

主な作製、増刷物は以下のとおり

- ・三国湊パンフレット 10,000部（修正増刷）
- ・越前がにパンフレット 25,000部（修正増刷）
- ・城たびポケット 10,000部（修正増刷）

4 観光商談会での旅行商品の販売促進及び出向宣伝

各種商談会への参加：オンライン福井商談会（6月）、教育旅行受入態勢強化研修（9月）、ツーリズムEXPOジャパン（9月）、北陸3県修学旅行オンライン商談会（12月）、福井観光商談会（東京）に参加し、旅行会社やメディアなどに対し坂井市観光素材のPRを行った。また、DMO会員向けに、商談会参加にかかる費用を支援することによりDMO会員の参加を促し、計7社の参加があった。

ハピリン2階の福福館17市町PRブースでのPRや物産品の販売を行った。また、長野駅出向宣伝（7月）に参加し、坂井市観光素材のPRを行った他、名古屋物産展（12月）、ふくいうまいもん祭り（12月）、大宮駅出向宣伝及び物産展（1月）に参加し、坂井市の観光地及び物産品のPRを行った。12月から2月の期間限定で運行した「名福ライナーみくに号 満福バス」のトップセールスのため、11月には坂井市長とともに名古屋へ出向いて坂井市のPRを行った。

B 誘客業務

1 着地型旅行商品の造成

三国湊エリアにおいて、帯のまち流しをフックにした観光誘客を図るため、体験プログラムを造成し、モニター体験を実施した。3月25日には旧森田銀行本店を活用したTHE MORITA BARを開催し、ナイトタイムエコノミーの推進を図った。

2 教育旅行の誘致

大手旅行会社JTBと共同で取り組んでいる教育旅行誘致事業について、三田国際学園（東京都）の現地受け入れを行った。

3 取材協力

おしよりのん映画撮影に協力を行い、一部費用負担をした。タイチサン！（東海テレビ）の三国町内での撮影に対して取材費用の一部助成を行った。

4 各種セミナー等への参加及び情報収集

福井県が主催する「観光アカデミー」に、坂井市職員1名、DMOさかい観光局職員1名が受講生として参加した他、アンケート回答者等へノベルティとして配布する坂井市内の観光地ポストカードを作製した。また、3月に、桜時期に向けた観光PRとして丸岡城桜まつり及び竹田の里しだれ桜まつりのPRポスターや坂井市観光パンフレットを山中・山代両温泉組合へ配架するとともに、パンフレットの相互配布を行うための情報交換を行った。

5 事業協賛

DMOさかい観光局協賛金交付要綱に基づき「ゆりフェスタ 2022」「竹田じょんころカーニバル」「The35th NAN'S SEA and THE BLUE CUP」「三国駅前広場完成記念セレモニー」へ事業協賛を行った他、あわら三国広域観光推進協議会への負担金、海開き式典費用の負担を行った。

6 その他、観光振興に関する業務

三国祭期間中に参拝者向けに仮設トイレ設置を行った。また、当地を訪れる観光客の利便性向上を図るために、ボランティアガイドきたまえ三国に三國神社前山車蔵での観光案内業務を委託した他、東尋坊観光案内所及び三国駅観光案内所においてタッチパネル式の観光案内システムを運用している。その他、海水浴シーズンにおける安全確保のため、ライフセーバーの増員を行った。また、三国祭の山車人形師育成や丸岡城桜まつり振興会への事務局人件費の支援を行った。えちぜん鉄道西長田ゆりの里駅でのレンタサイクルの運営も行った。

7 データ収集・分析業務

地域の魅力向上や誘客につなげるために必要なデータ収集方法やその加工分析に必要な手法を取得するために、専門家にコンサルティング委託を行った。また、株式会社Agoopが提供する簡易人流分析Webレポート「Papilio」を導入し、観光動態調査や観光施策の効果検証などを行った。

2 坂井・あわらエリア周遊滞在型観光推進事業／周遊滞在型観光推進委員会より受託

「坂井・あわらエリア周遊滞在型観光推進計画」に基づき取り組んでいる事業のうち、「あわら温泉・三国温泉魅力向上推進事業」を坂井・あわらエリア周遊滞在型観光推進委員会から受託した。「周遊チケット」のブラッシュアップを行い、新規参加店舗への営業活動を行った。現在利用しているチケットシステムが利用できなくなることに伴い、新規システムの構築及び乗り換えも行った。また、SNSを活用し、域内事業所の特徴ある魅力PRにも取り組んだ。

〈主な事業内容〉

1 周遊チケットの販売管理

パスマーケット上において販売される周遊デジタルチケットのページを作成及び管理し、毎月のページ作成を行った。また、購入時や利用時のトラブル対応として東尋坊観光案内所にてその業務を担い、お客様の対応をきめ細やかに行った。振込による毎月の精算業務を行った。

2 2023年チケットへの販促物作成

継続してチケットを販売していく上で必要となるチラシやポスター等の修正増刷の他、店舗掲示用のぼりやステッカーなどの販促物の作成を行った。

3 ホームページや SNS の活用による情報発信

公式サイトの運営管理を行い、新システムに伴う改修作業も実施。インスタグラムの投稿を定期的に行い、域内事業者の PR に務めるとともに、フォロワーの獲得にも務めた。

3 美食の郷 越前坂井 推進事業

この地の最大の“強み”である「食」を全面に押し出し、域内のステークホルダーが連携・集結することで地産地消サプライチェーンの確立を図ると共に『美食の郷』としてのブランド化及び食を通じた誘客力と消費額アップを目指している。

〈主な事業内容〉

1 坂井市食材フェアの実施

北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、軽井沢町との連携強化を図るために、8月に軽井沢のホテルにおける坂井市の食材を用いたメニューの提供を行った。特に、魚介類については高い評価を得ており、令和5年3月にも軽井沢での物産フェアを行った。軽井沢町については、10月に軽井沢町職員、2月には軽井沢観光協会が当市へ視察に訪れている。また、首都圏における大手企業の社員食堂での坂井市産食材のメニュー提供及び物産展の実施を行った。

2 美食をテーマにした機運醸成セミナーの実施

金沢出身の著名な美食家を講師に招き、北陸新幹線金沢開業時の事例を参考に、観光事業者や飲食店、地元住民に向けたおもてなしセミナーを11月に開催した。

3 経営委員会の設立

令和4年8月19日(金)の第二回臨時理事会において承認され、経営委員会を設置。第一回を9月27日(火)に、第二回を11月11日(金)に、第三回を令和5年3月20日(月)にそれぞれ実施した。

DMO さかい観光局の今後目指す方向性となる10本柱を示し、中長期的なビジョンを作成した。

4 三国駅舎管理事業／坂井市都市計画課より受託

えちぜん鉄道三国駅舎管理業務を坂井市より受託。日常業務として掲示板の使用、情報発信施設の使用、空調管理、北側駐車場の管理、施設異常時の初期対応、通報及び防犯監視機器等の維持管理を行った。定期業務としては電気メーター検針、非

常時業務として 異常気象時による緊急対応、冬期間による除雪等を実施した。その他、御乗印の販売等も行った。

5 坂井市移住定住促進事業／坂井市企画政策課より受託

県外から坂井市への移住定住促進をより効果的に図るため、移住に関する相談窓口体制を強化することを目的に、坂井市総合政策部企画政策課より事業受託した。

〈業務内容〉

- 1 相談窓口支援業務
- 2 移住定住促進業務
移住定住希望者へのサポート
移住後のサポート
(移住者実績：1家族4名、単身1名、その他単身1名申請予定。)
対応総時間 118 時間
- 3 お試し移住業務推進業務
- 4 ワークーション施設の利用促進業務
- 5 移住希望者向けの PR 動画の撮影協力

6 PRコンサルティング事業／越前三国競艇企業団より受託

ボートレースファン拡大および、ボートレース目的のお客様を地域の観光地に誘引することにより地域貢献を目指す越前三国競艇企業団と業務委託契約を締結し、ボートレースのプロモーションとともに、ボートレースファンの観光施設への誘導を目的に、各種施策の企画、実施を行った。

福井県内で最も集客の見込める商業施設、ラブリーパートナーエルパにおいてボートレース三国の PR 及び坂井市の観光 PR を、子ども連れのファミリー層を中心に広く行った。併せて、令和5年4月オープンの坂井市アンテナショップの出張店舗も出店したり、越前織のワークショップを行うなど、坂井市への観光誘客も図った。

7 その他公益的事業（ウェルネスツーリズム）

過去2カ年に亘り観光庁の事業採択を受け実施した「富裕層向け商品造成事業」。3年目となる今回は、当観光局と(株)USEN Mediaが事務局となり、坂井市・あわら市・永平寺町及び観光関連団体等と『福井県広域ウェルネス推進協議会』を組織し、食と癒し(ウェルネス)をテーマに ①地元の食材・料理人による看板商品の開

発 ②FAMツアーの実施 ③ECサイトによる販路構築 ④ウェルネスユーザー向けPRコンテンツの制作と発信 等を実施。

次年度に向け、協議会に福井県（観光誘客課）を加え、観光庁が公募した「地方における高付加価値なインバウンド観光地支援事業（1,000万円/10割）」及び「観光再始動事業（8,000万円/10割）」に提案を行った。

また、NTT西日本他が設立した新会社による三国湊エリアでの町家ホテルを核とした富裕層誘客事業とも連携し、新たなインバウンド富裕層の誘客を目指す。

（2）収益的事業

1 旅行業、着地型商品販売事業

東尋坊を地質学の観点から詳しく案内できる東尋坊マイスターを認定し、有料ガイドとして旅行会社や学校などからの要請に応じて東尋坊のガイドを受け入れている他、丸岡城エリアで実施している「重ね捺し御城印スタンプラリー」の台紙販売による収入を得ている。

また、旅行業登録を活用し、ふるさと納税三国祭山車曳きツアーや三国湊 SUNSET クルーズ、FanFun ツーリズム坂井おもてなし観光ツアーなどの開催業務を受託した他、三国エリアにおける日帰りツアー「冬の越前三国満福ミニツアー」を開催し旅行業務取扱手数料などの利益があった。

2 東尋坊駐車場管理事業

東尋坊市営駐車場の管理業務を坂井市より受託。利用料の徴収及び駐車場及び公衆トイレ清掃等の維持管理、市への管理業務報告を行った。シルバー人材センターと駐車場スタッフのシフト管理なども行った。

3 東尋坊 WORK&CAMP(ワーケーション施設)管理事業

東尋坊観光交流センター2階に設置した「ワーケーション施設」の適切な運営及び維持管理を行った。

4. 自動販売機設置、運用事業

三国駅舎内に2基、東尋坊交流センター内に1基を設置した。運用に係る電気料負担に対し、売上歩合収入があった。

5. その他収益的事業

えちぜん鉄道の御乗印販売業務の委託販売及び、ふくい de お得クーポンの受付業務などを行った。

(3) 運営部門

1 一般社団法人DMOさかい観光局運営事業

令和5年度3月末現在、専務理事1名、常勤職員7名（市派遣1名含む）、パートタイム職員8名体制で運営。上記事業を円滑に実施するとともに会計事務の確実な遂行や「社員総会」「理事会」における議事資料や議事録の作成等、法人運営上の諸事務を行った。なお、令和5年4月より2名の職員を新規採用する。

1 DMO さかい観光局管理運営補助金

7名分の給与、手当、法定福利費等の労務費、非常勤・パートタイム職員8名の賃金及び社用車（軽貨物1台）のリース料。

2 会費収入および事業収益

前項「補助金」の対象外となる販売費及び一般管理費等に充当。

3 東尋坊観光案内所、三国駅観光案内所の運営

来訪者への丁寧な対応を実践。パンフレット設置や市内観光に関する動画を流して情報発信を積極的に行った。また、保守点検や、清掃業務、保安警備業務を行い、施設の維持管理に努めた。

4 会員管理・サービス

正会員および賛助会員の登録管理及び会費の納入管理。コロナ禍による経済への影響を鑑み、前年度に引き続き入会金は免除、年会費は1/2減額とした。

また、坂井市観光情報サイト「Web旅ナビ坂井」には会員専用サイトを設け、会員向けの情報発信を開始した。同時に観光に関連する情報等の共有や相互のコミュニケーションを目的として、会員向けにNEWS LETTERの配信を行っている。

(4) K P I (重要達成度指標)

指標項目		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		(R 2) 年度	(R 3) 年度	(R 4) 年度	(R 5) 年度	(R 6) 年度	(R 7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目 標	8,115 (-)	21,000 (-)	23,000 (-)	25,000 (-)	27,500 (-)	27,500 (-)
	実 績	18,840 (-)	15,902 (-)	13,954 (-)	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目 標	68.2 (1.0)	200.0 (3.0)	215.0 (4.0)	230.0 (5.0)	240.0 (6.0)	240.0 (6.0)
	実 績	152.2 (0.5)	159.6 (0.1)	209.7 (0.3)	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目 標	49 (-)	52 (-)	4.20 (-)	4.30 (-)	4.35 (-)	4.35 (-)
	実 績	52.7 (-)	51.9 (-)	4.20 (-)	()	()	()
●リピーター率 (%)	目 標	74.7 (-)	74.8 (-)	74.9 (-)	75.0 (-)	75.1 (-)	75.2 (-)
	実 績	69.9 (-)	61.9 (-)	57.1 (-)	()	()	()
●主要観光地入 込数 (千人)	目 標	771 (-)	1,157 (-)	1,735 (-)	2,000 (-)	2,500 (-)	2,500 (-)
	実 績	1,421 (-)	1,017 (-)	1,328 (-)	()	()	()
●Web サイトの アクセス数 (View)	目 標	1,800,000 (-)	350,000 (-)	400,000 (-)	450,000 (-)	500,000 (-)	600,000 (-)
	実 績	1,167,347 (-)	460,930 (-)	693,282 (-)	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※主要観光地入込数内訳（東尋坊、芝政ワールド、越前松島水族館、丸岡城の入込数合計）

※来訪者満足度は、R4年度より調査方法を変更したため、それに伴い目標も変更した。